

広島市植物公園 見どころ案内

ハナモモ‘雛遊び’

(バラ科)

広島生まれの品種で、他のハナモモより一足先に一重の淡いピンクの花が咲き始めました。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (2/1~2/16)
- カカオとチョコの秘密展
- ◇展示温室
- 冬の鉢花展(1/11~2/9)
- おもと(万年青)名品展
(2/11~2/17)

ウメ‘冬至’ (バラ科)

数あるウメ品種の中でも特に早咲きで、冬至のころから咲き始めるのでこの名がつけました。一重咲きの白花が見頃を迎えています。対面にある早咲き紅梅品種‘八重寒紅(やえかんこう)’も見頃です。紅白の対比をお楽しみください。奥にある‘新冬至’は3分咲き、茶室付近にある‘白加賀’は咲き始めです。

南アフリカの球根植物

夏は乾燥し、冬は温暖で雨が降る南アフリカは、球根植物の宝庫です。サボテン温室ではツルバキアやキルタンサスが咲いています。

ブラジルデイゴ

(マメ科)

ブラジル原産の落葉小高木。ツンツンした赤い花が咲いています。大きな葉を持つ植物ですが、落葉時に花が咲きますので、とてもよく目立ちます。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

ベゴニア温室外の南側花壇やログガーデンで咲き始めました。これから春に向けてバラエティーに富んだ花色で彩られます。

タチバナモドキ (バラ科)

中国原産で日本には明治時代に観賞用として導入されました。名前の由来は果実がタチバナに似ているところから来ています。

アセビ (ツツジ科)

漢字で表記すると「馬酔木」。馬が葉を食べると酔ったようにフラフラになると言われることから、この漢字が当てられました。

ヤマコウバシ

(クスノキ科)

落ちない受験のお守りの木です。紅葉のあと、春の芽だしまで葉が落ちずに冬を越します。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産で、1~3月に黄金色のリボン状の花を咲かせます。中央部は暗赤色です。

ソシンロウバイ

(ロウバイ科)

半透明の鈍い艶がある花びらがまるで蠟細工の様にみえます。辺りに漂う香りもお楽しみください。

ウメ園

斜面の広範囲で、早咲きの梅が見ごろを迎えています。下からだけではなく、あずまやに上がる階段の途中からもぜひご観賞ください。

